



## 静かな図書館

### — 図書館利用のマナーについて考える —

井上智奈美

#### I. はじめに

##### 「図書館とは静かであるべきだ」

図書館員としては当たり前のことだが、利用者にとってはどうやらそうではないらしい。なぜ静かであるべきなのか？について、じっくり考えたことはなかった。今回、図書館利用上のマナーについて、その理由を考えてみた。

#### II. 図書館のマナー

##### 1. 静かであるべき

静かであるべきこと、それは「ルール」ではなく「マナー」である。図書館法には静かであるべきだとは記載されていない。また、すべての図書館に共通するルールでもない。図書館の利用案内などに記載されている「お願い」のようなものだ。

静かというが、ページをめくる音さえもダメなのか？それでは本が読めない。では話し声がダメなのか？そうするとレファレンスができない。静かの基準は明確に定められない。結局、他の利用者に迷惑をかけないように静かにするべきだ、というところに落ち着く。他の利用者が静かの基準になるわけだ。利用者の思いが多様化している昨今、静かの基準は難解だ。最低限、自分がされたら嫌なことはしないでおくよ。これは図書館に限らず公共の場においても守るべきマナーだったはずだ。

では図書館員としてはどうすべきか？騒ぐ利用者がいれば注意しなければならない。その際

「図書館なのでお静かに」と注意するのが一般的だ。でも、昨今の利用者には図書館＝静かという認識がないかもしれない。その場合は「他の利用者の迷惑になるので」と説明しよう。

病院図書館においてはどうかだろう。図書館員と一人の利用者以外は誰もいないという状況もありえる。その場合は、多少騒がしくても仕方がないのかもしれない。他の利用者が来れば注意するなどで対処しているのが現状かもしれない。

##### 静かである利点

- ・集中して本が読める、探し物ができる
- ・荘厳な雰囲気を出せる

##### 静かである欠点

- ・他者とのコミュニケーションがとりづらい
- ・なんとなく緊張する
- ・長居しづらい

##### 2. 飲食禁止

図書館では飲食も禁止としているところが多い。その理由は、本やPCなどの設備が汚れるから、また、においなどが他の利用者にとっては不快とされる場合があるからだ。だが、熱中症予防などの観点から、飲む場所や容器を指定するなどの条件付きで水分補給は許可するところが出てきた<sup>1)</sup>。

実際、図書館員は水分補給をせずに長時間図書館業務をしていられるだろうか？利用者の目に付かないところで水分補給をしないと、その都度図書館から出て水分補給をするようでは業

いのうえ ちなみ：三菱京都病院 図書室

務効率が悪い。

においについてはマナーだが、本やPCなどの設備を故意に汚損させた場合は、器物損壊に該当し、賠償問題になる可能性がある<sup>2)</sup>。自宅でお茶を飲みながら図書館で借りた本を読む人も多いただろう。利用者は細心の注意を払ってくれていると思いたいですが、そんな感覚が通用しない利用者が出てきている。注意をすると逆ににらまれたりもする。図書館員が女性だとなめられるので、体格の良いこわもての男性が対応するとよいのかもしれない。オーストラリアでは図書館内に警備員がいて、利用者に注意を払っているところもある<sup>3)</sup>。

病院図書館ではどうだろうか？目の届く範囲であれば誰が何をしているのかは図書館員にまるわかりだ。万一、飲み物をこぼしたりしてPCなどの設備を汚損させた場合は、すぐに発見できるので即賠償請求ということになる（ただし夜間など図書館員不在時は不可能である）。そうならないように利用者に注意を促そう。

#### 飲食禁止の利点

- ・本が汚れない（館内においてのみ）
- ・利用者が器物損壊する機会を減らす
- ・飲み物や食べ物のおいがしない

#### 飲食禁止の欠点

- ・のどが渇く
- ・お腹が減る

### 3. 自習禁止

ここで言う自習とは、その図書館の設置目的に沿わない利用方法をするを指す。

普通、図書館で図書館の資料を使わずに机と椅子を使うことは他の利用者の迷惑になる（例えば、自分の参考書を持ってきて夏休みの宿題をすることなど）。これは他の利用者の利用場所を奪うことになる。

病院図書館は図書館の資料だけでは対応しきれないことが多い。また医師はともかく他の医療スタッフは自分の業務机を持っていないこと

が多い。そのため、病院図書館の設置目的は、図書館資料の閲覧だけに限らないことがあるようだ。

病院図書館の設置目的は、主に「自院の医療の質を向上させること」にあると思われる。このことから普通の図書館では禁止とされる自習利用が、病院図書館では多い。それで自院の医療の質が向上するのであれば、病院にとってはよいことだ。もし昼寝している医師がいたとしてもすぐさま追い出すことはしづらい。それが医療の質を向上させることになるのかどうかは疑問だが、そこに調べものをする利用者が来れば退出をお願いするだろう。それぞれの利用者の優先順位を、実は病院図書館担当者が決めているのかもしれない。

とはいえ、医療とは関係のないこと（旅行の計画など）で机を占拠し、他の利用者の利用機会を奪うことはやめてもらいたい。また、荷物の管理は自分で確実にしてもらいたい。不在なのに荷物だけ置いておくのは迷惑であり他の利用者の利用機会の損失だ<sup>2)</sup>。

なにげない交流の場として気軽に使ってもらう場合もあるが、本当はそういう部屋は別にあってほしい。しかし、ない場合は図書館が代用される場所になってしまうのだろう。

#### 自習禁止の利点

- ・その図書館の設置目的に沿う利用者の利用機会を保護する

#### 自習禁止の欠点

- ・なにげない交流の場をなくしてしまう

### Ⅲ. おわりに

図書館における禁止事項は、図書館の事情もあるが、利用者のためを思ってということが多いことに気づいた。でもそれを声高に言うとおしつけがましくなるので、マナー喚起の方法は難しい。普段から利用者とコミュニケーションが取れていればお互いの事情はわかりあえそうなものだ。病院図書館員は、他の利用者の迷惑

にならない程度で、利用者との会話をしてみるのがよいかもしれない。

所有者(相手)の顔が見えないと、傍若無人な振る舞いが起こるようだ。利用者をよく見よう。そして利用者にも図書館員(図書館)をよく知ってもらおう。そうすると、設置目的などもわかってもらえ、間違った利用方法にはならないのではないだろうか。甘い考えかもしれないが。

図書館員がいかにその図書館の資料や場所(設備や雰囲気を含め)を大事にしているか、それをいかに相手に伝えるかだと思う。

#### 参考文献

- 1) 黛崇仁: 図書館内での水分の補給 利用者のマナー. 薬学図書館. 2008; 53(2): 144-7.
- 2) 鎌水三千男. 図書館と法 図書館の諸問題への法的アプローチ (JLA 図書館実践シリーズ 12). 東京: 日本図書館協会; 2009. p205-9.
- 3) 金沢大学附属図書館, 静岡大学附属図書館, 名古屋

屋大学附属図書館. 学習支援促進のための三大学連携事業による海外大学図書館調査報告書 香港, シンガポール, オーストラリアの大学図書館におけるラーニング・コモンスの整備及び学習支援の現状. 平成 24 年 9 月. p. 39 [引用 2013-10-24] <http://ir.nul.nagoya-u.ac.jp/jspui/bitstream/2237/16799/1/海外調査報告書20120919.pdf>

- 4) 『薬学図書館』編集委員会: 図書館における飲食マナーアンケート集計報告. 薬学図書館. 2008; 53(2): 148-65.
- 5) 坂本博. CA1405-読書をしながら飲んだり食べたりしたいですか? カレントアウェアネス No. 263 2001.07.20 <http://current.ndl.go.jp/ca1405>
- 6) 島村聡明. CA1675-読むなら飲むな?—図書館における飲料問題— カレントアウェアネス No. 298 2008.12.20 <http://current.ndl.go.jp/ca1675>
- 7) 堀越敬祐. CA814-図書館における飲食問題/堀越敬祐 カレントアウェアネス No. 154 1992.06.20 <http://current.ndl.go.jp/ca814>